

入居企業紹介 その75

SICに入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 207

株式会社 ア・ラビット・サイエンス



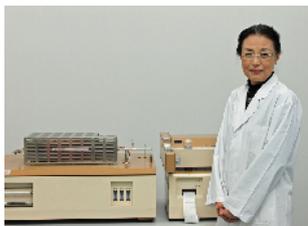
【代表プロフィール】

株式会社ア・ラビット・サイエンス
最高経営責任者 佐藤綾子(さとうあやこ)さん
静岡県立大学薬学部客員共同研究員
静岡市在住、40数年間にわたり東北大学薬学部及び静岡県立大学薬学部で元素分析を担当。
学生時代は、テニス、スキー。今は事業に打ち込める毎日がとても充実しているとのこと。

【起業しようと思ったきっかけは?】

東北大学医学部薬学科在籍中に研究者や学生の新規化合物の構造決定のための元素分析(C, H, N, Cl, Br, I, S)を担当したことにより、化学合成から元素分析の道に入り、40数年間、有機合成化学の実験をサポートし、その間超微量分析を確立した。その技術が学術的研究だけでなく産業界への活用の可能性を見出し、起業セミナーなどで積極的に学び、本年4月に起業した。

また、ITの発達が発業を大きく後押しした。インターネットが普及されていない東北大学勤務時代、研究者相互の情報交換をするためパソコン通信を利用し、インターネット到来まもなく技術者ネットワークを立ち上げた。この時代を先導する感性がITを活用して世界の研究者に超微量分析を提供できると確信させた。



【事業紹介】

元素分析は、物質を構成している元素の組成を正確に定量するため化合物の主構成元素であるC, H, Nの含有量を燃焼分解により定量的にH₂O, CO₂, N₂に変換し、これらの各成分を熱伝導度検出器によりC, H, Nの含有量及びC/N比を分析するものである。

弊社の元素分析の特徴は、ウルトラマイクロ分析の技術を活かしたもので通常の元素分析のサンプル量の1/4~1/10で測定でき、0.5mg以下のサンプル量での有機元素分析を確立している。

また、C, H, Nに関しては、10μgを検出できる技術を有し、超微量元素分析技術として確立した。自動出力秤量データ、分析装置自動出力データ、計算ソフトウェアによる処理過程を完全電子化し保存することができる。

この超微量元素分析は、学術的研究だけでなく、農業、環境分野の各種分析に利用することが期待でき、今後、堆肥分野では、C, N及びC/N比の分析が注目されている。販売されている堆肥は、外国産が8割を占めるという。弊社独自の元素分析技術が良質の国産堆肥づくりに貢献できると考えている。

【これからの夢または目標は?】

ノーベル賞で話題の鈴木クロスカプリング反応の時代にも元素分析は主要な論文データであったが、東北大学時代沢山の試料を分析した現新潟薬科大 杉原教授がノーベル賞受賞の根本栄一氏に留学していたと新聞に報じられていたのを見て“元素分析”が化学合成に重要なものであったことを改めて実感した。昨今の分析技術の中でも物質質量を測り、炭素、水素、窒素の確かな分析として継続させることを決意している。

弊社独自の元素分析技術で社会活動、社会貢献をするため、低価格で多くの方に気楽に利用していただきたいと思っている。SICに入居し、入居企業の皆様との出会いが目指す事業を形づくり始めた。起業から7ヶ月、自分で会社をつくり、自分で判断することが事業経営だと実感している。

今の課題は、自分の判断力を鍛えること。頭で考えるよりまずは行動しようと思う。性格は直球ストライク!まっすぐな自分の強みを活かし、実験科学の世界で培った探究心で事業に挑戦して行きたいと思っている。

学生時代はテニスに打ち込んできた。テニスの楽しみは、スイートスポットに当たったその快感だった。事業も同じ、苦しさもあるけれど、目標に向かい、実現できる喜びで楽しく事業を続けて行きたい。

夢は、世界中あらゆる方面に役に立つ“弊社独自の元素分析技術”を提供すること。会社のロゴにこめられた思い、‘世界を飛び回る元気なうさぎ(元素分析専門会社)’になりたい。



株式会社ア・ラビット・サイエンス
SIC-1 207 <http://www.rabbit-sc.jp/>



入居企業トピックス

● 今月の掲載記事紹介

11月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

- 11月 1日 (月) @あるん
相模経済新聞 セカンドライフでネット通販
- 11月 1日 (月) Desk10 齋藤優見
相模経済新聞 「着物で国際交流」視野に Desk10で創業
- 11月 8日 (月) 株式会社オプトデザイン
神奈川新聞 ビジネスウオッチに掲載されました。
- 11月 15日 (金) 動物アレルギー検査株式会社
日本経済新聞 この企業ここがポイント
原因物質の特定可能に

南西フォーラム 18th FORUM



首都圏南西地域の強みである「高い技術力を有する中小企業の存在」「大学や研究機関の集積」を活かし、「航空宇宙」「次世代自動車」「医療福祉」などの分野において、地域企業が新産業創出の担い手となるための先端技術を紹介するセミナーを分科会形式で開催いたします。

【日時】12月8日 (水)
18時～21時
【場所】サン・エールさがみはら

詳しくは <http://www.nansei-forum.jp/> から。

SIC 忘年会 ** ビンゴ大会 **
 日時：12月6日 (月) 18:00～
 会場：サン・エールさがみはら 多目的室
 お申し込みは 飯山またはスタッフまで

入居企業の皆様へご案内
 くるまかふえ Sky Days
 12月のSIC販売予定日：

3日 (金)
8日 (水)
17日 (金)
22日 (水)

営業時間 11:00～16:00
 パン・コーヒーともなくなり次第終了です。
<http://skydays.net>

check!

気になりませんか？
 会社の健康度、社員の健康度

**SICヘルスサイコロジー研究所
 オープニングセミナー開催**

【日時】2011年1月19日 (水) 15:00～17:30
 【場所】SIC-2 会議室 (A)
 【定員】20名 (先着順)
 【講師】石川利江 (桜美林大学健康福祉学部教授)
 松田与理子 (ヘルスサイコロジー研究所 所長)
 【対象】企業経営者または総務ご担当者
 【お問い合わせ】ヘルスサイコロジー研究所 松田まで
 詳しくは SIC ホームページをご覧ください。

2010年12月

【今月の経営スケジュール (3月期決算の会社参考)】

経理：11月源泉税・地方税納付、章用計算、年末調整、給与計算・試算表作成
 社会保険・労働保険：賞与支払届

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1 会議室2月分 予約受付開始	2	3 職場リーダー 養成塾	4 SIC-2 エレベーター点検
5	6 SIC-1 *エレベーター点検 SIC忘年会	7	8 第18回 南西フォーラム	9 SIC-2 窓ガラス清掃	10 Desk10交流会	11
12	13 SIC-1 エアフィルター 清掃	14	15	16 SIC-2 エアフィルター 清掃	17 職場リーダー 養成塾	18 経営塾
19	20	21	22 SIC館内大掃除	23 天皇誕生日	24	25
26	27	28	29 SIC年末年始のお休み (12月29日～1月3日)	30	31	1 平成23年元旦

* エレベーター点検 SIC-1 9:30～10:30の間はご利用になれません。お問い合わせは 生井 (内線1116) まで

SIC「10年の時間軸」

今月も、「嬉しい話」から始めます。10月29日、SICのOBであるアイシンク（I-Think）株式会社の創立10周年記念パーティーにお招きいただきました。アイシンク（I-Think）社長である伊藤健太郎さんは、SICで2000年に起業され、プログラム開発を進め、独自能力を磨き、SICから巣立った方です。そして、沢山のお客様を創り、ビジネスモデルを確立され、プロジェクトマネジメントの世界で、確固たる地位を築かれました。本当に喜ばしいことです。

このように、SICから成功をされる企業が数多く輩出されるのが、SICの存在意義でもありますので、このことからしても、喜ばしいことです。

SICの設立は、1999年4月。SIC-1のオープンは、2000年4月。SIC-2のオープンは、2002年4月。SIC設立から11年。SIC-1オープンから10年。SIC-2オープンから8年です。10年という時間は、長いような短いような、人それぞれにより感じ方は違うのではないかと思います。そのような10年の歴史を刻んだ企業が、SICの入居企業の皆様の中から、生まれてきたことも、大きな意味があります。

ベンチャー企業の成長するプロセスとして、次のようなことが言われています。

『技術経営の分野では、研究開発と事業化までの難関・障壁を、研究開発のフェーズによって

- 「魔の川」…基礎研究から応用研究までの間の難関・障壁
- 「デスパレー（死の谷）」…応用研究からニュービジネスあるいは、製品化までの間の難関・障壁
- 「ダーウィンの海」…ニュービジネスあるいは製品化から、事業化までの間の難関・障壁

のように分類しているが、これらすべてを総称して「デスパレー」ということもある。』

《ウィキペディア「デスパレー（研究開発）」より》

基礎研究が産業化されるには、「魔の川」を渡り、「死の谷」を歩み、「ダーウィンの海」を生き抜き、対岸に渡りきる必要があります。とされています。

わたしの居場所



「わたしの居場所」を求めて、箱根駅伝コースを歩きました。今回は、その時の報告です。

箱根駅伝の「小田原中継所」から「芦ノ湖」までの往路、5区をご存知でしょうか。距離にして23.4km、高低差800m

を一気に駆け上がります。

毎年、小田原中継所には日本陸連の会長さんも応援に駆けつけています。

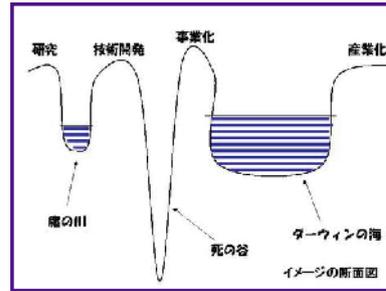
これまでの最高タイムは、昨年の東洋大学の柏原選手の記録、1時間17分08秒です。時速に換算すると18.2km/hです。一般的に、いわゆるママチャリを平坦な道で一生涯懸命こいで、男性で時速20km/h、女性で15km/hと言われています。どれだけ早いか驚くばかりです。

私は今年の5月にこのコースがどれほどのものなのか、「歩いて」（走ってではありません。）体感してみました。小田原一芦ノ湖までの時間は3時間54分50秒でした。歩いて歩いても、さんざん歩いて、芦ノ湖にはつきません。日頃から、

もうひとつ、嬉しい話です。11月19日（金）「SIC・K S P フォーラム2010」が、橋本駅ミウィ・社のホールで開催されました。基調講演として、神戸国際大学経済学部中村智彦教授のご講演。

そして、SIC入居企業3社によるパネルディスカッション。パネリストは、(株)グローバルヘルスの田中社長、動物アレルギー検査(株)の増田社長、サイエナジー(株)の元田社長です。

各企業紹介のあと、創業から現在までのご苦労された体験から、貴重な意見をたくさんいただきました。まさに、「魔の川」を渡り、「死の谷」を歩み、「ダーウィンの海」を生き抜き、対岸に渡りきることを実践された経営者の姿でした。



SIC入居企業の皆様は、この「10年の時間軸」のなかで、それぞれどんな成長プロセスを歩まれたのでしょうか…。

そして、これからの「10年の時間軸」をどのようにお考えでしょうか…。

忙しい「師走」となりましたが、企業の成長プ

ロセスを「大きな時間の流れ」のなかで、考えてみるのも良いかもしれませんね…。

アイシンク（I-Think）の歴史

2000年5月1日 「さがみはら産業創造センター」内に設立。
→プロジェクトマネジメントに特化したサービス提供
→様々な業種でのプロジェクトの成功をサポート、

2005年5月 新宿センタービルに移転。
2005年5月 G-Thinkをさがみはら産業創造センター内に設立。
→顧客サポートとテキスト製作を主に担当。

《伊藤社長の著書》
2003年10月 『プロジェクトはなぜ失敗するのか』（日経BP）
2005年10月 『戦略的エンタープライズプロジェクトマネジメント』監訳（生産性出版）

2007年3月 『プロマネはなぜチームを壊すのか』（日経BP）
2010年10月 『狩猟型プロジェクトマネージャーの哲学』（生産性出版）

どんな人ですか？ SIC スタッフ編

今月のスタッフ【インキュベーションマネージャー 飯山 隆幸】

マラソンをしているため、足は持ちましたが、箱根の坂は、まさしく「壁」です。特に、小涌谷近辺は急坂、急カーブが続く車でもよく登れるなど実感する程です。（昨年、柏原選手は小涌谷で一気に前の選手を抜き去りましたね。圧巻です。）また、思いのほか、芦ノ湖に近づいてからの下り坂も相当大変です。

ゴールの芦ノ湖の入り口には2005年にオープンした「箱根駅伝ミュージアム」があり、箱根駅伝の歴史が垣間見れます。毎年、箱根駅伝をテレビで見られる方は一回行ってみたいかがでしょうか。沿道で選手を見るよりオススメです。

さて、芦ノ湖まで4時間弱かけて歩いた私ですが、帰りは…

…気持ち折れ、箱根湯元までの直行バスに乗りました。30分位でついしまいい、逆にびっくりしました。お勧めはしませんが、貴重な経験ができました。



（次回は、インキュベーションマネージャー上野泰和です。）

【シリーズ企画 企業支援の現場から・・・アドバイザー編】

第2回 人口問題とビジネスチャンス

巷ではその人口から有望なマーケットと言われている中国ですが、多々問題を抱えているのも周知の事と思います。

中国大陸人口は13億3,474万人。世界人口の約2割が中国人となる計算です。

また、海外華僑も2,800万人、香港、マカオの人口を加えるとさらに増えます。中国農村部での戸籍の無い子供（黒孩子：ヘイハイズ）という統計外の数字もかなり存在しそうです。人口問題は深刻です。

◆人口増加

2009年の中国統計公報によると、昨年末の中国人口は、前年比で672万人増加との事です。これは北海道（約557万人）や千葉県（約620万人）を超えるものとなります。

今ひとつピンとこないと思いますので月平均で計算しますと、月56万人毎の増加となり、これは鳥取県全人口（約59万人）や姫路市人口（53万人）に迫ります。

今中国では、毎月姫路市クラスの都市が誕生しているということであり、これに対しエネルギー・食糧の確保が、中国政府の最優先課題になるのも頷ける所があります。

◆男女比率

通常の男女出生比率は女100に対し男が103～107が正常範囲とされています。2009年の中国での出生比率は100対119.45とのことです。

中国では、“後継ぎとして、働き手として、女の子は嫁ぐので”

男の子が良いという考え方もあり、意図的な生み分けにより上記の出生比率となっているようです。

この不均衡がこのまま続けば、適齢期に結婚できない男性が10人に1人という計算となります。

ただでさえ、「天の半分を支えるのは女性」と女性の立場の強い中国ですが、さらに女性が強くなりそうです。

◆都市と農村

中国都市部を食糧生産で支えていたのが農村部でした。しかし地域経済格差から、農村部から都市部への人口の流出が進み、現在中国全人口の約46.6%が都市部在住という状態になっています。ご存じの通り2004年から中国は食糧輸入国に転じ、2008年から食糧の海外輸出に関しても抑制方向です。

今後、レアアース等に続き、食糧も輸出制限が出される可能性もあるかも知れません。

◆問題点をどう見るか

人口問題だけでも大きな問題ですが、上記のような個々の問題も、裏を返せば以下の例の様に、ビジネスチャンスになる可能性も秘めているのでは無いでしょうか。

- ・結婚のマッチングビジネス。
- ・女性の社会台頭による、美容・健康関連商品のビジネス。
- ・安全という付加価値をつけた水耕栽培や食糧供給ビジネス。

そこに「ビジネスチャンスあり！」と考えるか否かは、私達の大きな経営判断となる事でしょう。

SICアドバイザー 早野 寿一

クリスマスのおすすめ

アフリカテイストのお花屋さん



BAHATI

2000年相模原市のチャレンジショップで最優秀賞を受賞し、2002年にお店をオープンした花屋さん「バハティ」をご紹介します。

そうです。今年5月の『母の日』のお花の注文をSIC-1のロビーでされていたお店です。

双子の姉妹が子どもの頃からの夢を叶えたお店です。

二十歳の頃からアフリカ・ケニヤに魅せられてお店もサバナロッジを再現しています！

毎年8月には、ケニヤ雑貨の買い付けのため、お店を一ヶ月間休業しています。

今年もバハティオリジナルグッズを含めたたくさんさんの雑貨を仕入れて来たようです。

毎年ケニヤへ行く理由は他にもあります。

気になる方は、BAHATIホームページ <http://www.bahati.jp> を訪ねてみてください。

さて、今年のクリスマスはどれにしようかな～！？

ケーキは、Une Oeufs(アンウッフ)さんの美味しいケーキです。

12月22日(水)・24日(金) 16:30～ SICにて

お渡しできます。ご注文の際、「SICで」とお伝えください。

■住所 緑区橋本8-9-4 ■電話 042-771-8733 ■定休日：毎週木曜日(12月23日は営業します。) 営業時間：平日10時～19時

只今”2人のChristmas2010”ご予約受付中です。

最終受付：12月21日 お渡し日：12月23・24・25日

お申し込み：お電話(042-771-8733)または、

ホームページ <http://www.bahati.jp> から



2人のChristmas Set ¥3,675.-
(Cake(直径12cm) & mini アレンジ)



Special Christmas Set
¥5,500.- (Cake(直径12cm)
& キャンドルアレンジ)



2人のモカロールセット
¥5,250.- (モカロール(19cm)
& mini アレンジ)

編集後記

今回、2度目のバハティさんをご紹介します。前回は、5年前でした。バハティさんのお花は、いつもとても元気です。日持ちの良さにびっくりします。お花は、同じ顔をしていても、育てている人で色合いや元気が違って、その人の名前がブランドになっているそうです。さて、SICの今年最後のゴミ収集日及び年明けの収集日は、後日ご案内いたします。それでは、皆様、大掃除頑張りましょう！荻島